

# ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室(ひよこ組) 令和7年5月号 No.2

5月の集団活動は『春のピクニック』と『しゃぼん玉あそび』をしました。ピクニックの日はあいにくの雨でしたが、室内で草花や昆虫と触れ合い、砂場や室内ジャングルジムで遊び、ピクニック気分を味わいました。お友達が遊んでいる様子を見て同じ遊具にチャレンジしたり、一緒の場所で遊んだりとお友達の刺激を受けて並行遊びを楽しむ様子が見られました。保護者の皆さんもこれからの遊びややりとりに繋がるように、遊びを見守ったり、遊び方を見せたりしながら関わる様子が見られました。海南ライオンズクラブさんに寄贈して頂いた遊具はこどもたちに人気で、滑り台や雲梯、ジャングルジムなど、様々な遊び方で楽しんでいます。



ぴくにつく



しゃぼん玉遊びは中庭で行い、日が射すと暑さが感じられたため、日陰を探してしゃぼん玉を楽しみました。芝生の上にぷくぷくと作られるしゃぼん玉に手を伸ばし、割れる不思議さを感じたり、風にふわふわと揺られるしゃぼん玉を追いかけて、触って割る面白さを感じたりしながら遊びました。追いかけるのに夢中で液を手を持っているのを忘れ、気付くと液が「ない」ということもありました😅。しゃぼん玉をたくさん作るために、1、2歳のお友達がスティックを揺らす様子を0歳児さんが見て楽しんだりもしました。2歳児さんは、お家の人が「ふー」と吹く様子を真似してしゃぼん玉を飛ばすことができました。

しゃぼん

だま



## 補聴器のハウリング(ピーピー音)について

ハウリングとは、イヤモールドがきちんと耳の穴に入っていないと、隙間から音が漏れ、その音を補聴器がまたひろった時にピーピー音がすることです。ハウリングの原因は補聴器の故障もありますが、イヤモールドが合っていないことがほとんどです。ハウリングをしているということは、きちんと音が耳に届いていないということなので、早めに対策をお願いします。イヤモールドをフィットするように押し込み直すことで、ハウリングが止まる場合は問題がありません。それでもハウリングが続くようであれば、イヤモールドの音孔を指で塞いでみてください。ハウリングが止まると、イヤモールドが合わなくなってきているサインです。幼児期のイヤモールドの作り直し時期は、お子さんの成長によって大体半年に1回必要と言われていますのでチェックしてみてください。もちろん幼児教室来校時にも、相談を受けています。

音孔

## きこえについて

幼児教室の保護者学習会として、『きこえについて』を開催しました。担当者より、耳の仕組みから音の伝わり方などの基礎的な説明があり、オーディオグラムの見方も知ってもらいました。また、補聴機器を通したきこえ方のイメージを掴み、難聴体験もしてもらったことで、今後のお子さんとの関わり方について、たくさんの前向きな感想をいただきました。2回目も予定していますが、早めに聞いておきたい方は来校時にお伝えください。

きこえの仕組み  
難聴の種類